

【 第 132 回国内旅行 式年遷宮で活気溢れる伊勢神宮初詣 2 日間 】

『初詣は、お伊勢さんに！』



伊勢神宮(内宮)

平成 25 年は伊勢神宮では 20 年に一度の式年遷宮の年を迎えます。
1,300 年も前から、20 年ごとに新しいお社に新しいお宮に建て替えを続けてきた式年遷宮は平成 24 年に「立柱祭」「上棟祭」が済み、25 年 10 月に、ご神体を「遷御」してヤマ場を迎えます。この年は参詣者も 1,000 万人を超えて混雑することが予想されています。

混雑の前に、初詣を企画しました。ぜひご参加下さい。お出かけの前に予告編をご覧ください！

1 日目

【 浜松から渥美半島 】

東京を朝 7:00 前後に出発！東名高速を西へ西へ、**浜松**を目指します。距離が長いので、トイレ休憩をたくさん取ることになっています。

日本のウナギは年々少なくなり、食べられなくなりそうな気配でした。今のところ人がウナギに手を貸しているのは稚魚であるシラスウナギから成魚までで、産卵から稚魚までの過程は謎だったのです。ところが正に昨夏、産卵場所が特定されました。伊豆七島の海底山脈を辿って行ってフィ

リピンから遙か東に当たる場所で、ウナギは卵を産むそうです。産卵から稚魚まで成長させるための研究がこれから始まろうとしています。

では少し安心して、おいしいウナギを頂きましょう。ちゃんとした専門店にお連れしたくて私どもが選んだお店は、明治 25 年からの老舗「うなぎ藤田」です。班によって浜松店又は浜松駅前店を使います。こちらは駅前店です。



ややあっさり系に仕立ててあるのは、女性にもおいしく最後まで食べていただきたいからだそうです。お店のこだわりが伝わってきます。4 代にわたるお店ですが、「藤田」としてのたれの完成は 3 代目になってからと言われ、長い時間をかけて熟成された味です。

(ウナギが苦手のかたは、申込み時にお申出下さい。別メニューのご提供ができます。)

午後は渥美半島を伊良湖(いらこ)岬に向かいます。田園風景が続きますが、トイレ休憩に気をつけて参ります。半島内には 10 カ所を越える「道の駅」(休憩所・おみやげ等)がありますので、状況によって最適の道の駅を利用して参ります。



道の駅「あかばねロコステーション」展望台(状況により立ち寄ります)

【 伊良湖岬港から鳥羽港へ 】

伊良湖から鳥羽までは伊勢湾フェリーを利用します。そうすると紀伊半島を南下する時間が節約になるわけです。乗船時間は 55 分間です。バスに乗ったまま乗船し、出港してから船内に出ます。到着前に再びバスに乗車してバスで船を下ります。



(伊勢湾フェリー伊勢丸)



(鳥羽港：ホテルのお部屋からの眺めです)

鳥羽港は伊勢観光の海の玄関口、アコヤ貝養殖の筏があちらこちらに浮かんでいます。フェリーを下りて二見浦(ふたみがうら)に向かいます。

【 鳥 羽 】

夫婦岩という名前の岩は全国に数ありますが、一番有名なのは、この「二見興玉(ふたみおきたま)神社」の夫婦岩です。江戸時代の浮世絵の題材になっていますから昔から全国的に有名であったことが分かります。御利益は「夫婦円満」「家内安全」「海上保安」「大漁追福」等です。



(二見興玉神社夫婦岩)

夫婦岩から 15 分でホテルへ。「鳥羽シーサイドホテル」到着は 17:00 の予定です。このホテルは鳥羽市最大で、千人を超えるお客様がご利用できます。



(鳥羽シーサイドホテル)

右から「望(のぞみ)館」、「汀(みぎわ)館」、下に見える低い建物が「岬亭」です。この 3 つの建物は 6 階の連絡階で繋がっており、それぞれに特色のある大浴場を持っていますので湯巡りができます。



(2 人分の写真です)

魚介のご夕食を用意いたしました。新鮮な海の幸は伊勢志摩ならではのです。

2日目

【 伊勢志摩真珠館 】

伊勢志摩と言えば真珠です。生産地だけあって高級品からお手軽なものまで、品揃えが豊富です。今回は「伊勢志摩真珠館」に立ち寄ります。



こちらでは作っているところから見学することができます。



(おみやげは二千円台からあります)

【 伊勢神宮(内宮) 】

伊勢神宮の正式名称は「神宮」だけです。神宮本庁の本宗(ほんそう)であり、社格も対象外とされる、まさに「神宮」です。とは言え他の神社と区別しなければなりませんから、伊勢神宮と呼ばれます。また、今回訪れる内宮(ないくう)は「皇大神宮」と言い、主祭神は天照大神であることはご存じの通りです。

宇治橋手前でバスを降りて、橋を渡ってしばらく歩くと五十鈴川の石畳です。静かで鳥の声が聞こえます。



内宮前の階段は幅は広いのですが、高低差が大きく長いので、心配な部分です。両脇の石垣には手が付きますので時間をかけてゆっくり登っていただきたいと思います。皆様そうなさっていました。



内宮の隣では、新宮が建設中です。幕が張ってあって屋根しか見えないのですがまだ飾りも付けていない白木の美しさは格別です。

ゆっくり内宮を歩きますと1時間かかります。今回の旅行のメイン訪問地ですからできる限りの時間をお取りします。



おかげ横丁は宇治橋に向かって左側に広がる、江戸時代から明治期の建築様式の商店街で、老舗や名産品の店が並んでいます。写真は「赤福」の本店です。本店は昔からの製法で赤福を作っているところを見ることができ、それを座敷で食べることができます。



(赤福3つとお茶で280円です。おなかがいっぱいになります。)

おかげ横丁にある「おかげ座」です。芝居小屋の格好をしています、実際はおかげ横丁の博物館です。昔懐かしいお店が並んでいます。



【 松 阪 】

松阪駅にも近い、松阪市本町にある「相生亭」は、松阪牛会席料理の専門店です。お伊勢さんの帰りに松阪牛は外せないところです。松阪牛の特徴は何と言っても「霜降り」が綺麗に入り、その脂肪分に甘みが乗っていることと言われています。大規模店舗ではなく、地元の名店を選びましたので、老舗の味をお楽しみ下さい。





(松阪肉牛鍋コース。デザートが付きます。)

お昼を済ませますと、松阪から名古屋、東京を目指し安全第一でバスの旅を続けて参ります。

平成 25 年の初詣旅行をご紹介して参りました、是非ご参加下さい！！

出 発 日	店 舗 名
2 月 5 日 (火)	赤羽、東王子、志村、小山支店のお客様
2 月 7 日 (木)	本店、秋葉原、日本橋、砂町、浦安、深川、菊川、京橋支店のお客様
2 月 1 2 日 (火)	新小岩、蔵前、堀切、亀有支店のお客様
2 月 1 4 日 (木)	京成小岩、牛込柳町、神楽坂、押上、東四つ木、江戸川橋支店のお客様
2 月 1 7 日 (日)	玉川、高田馬場、豪徳寺支店のお客様
2 月 1 9 日 (火)	石神井、野方、中野、池袋本町支店のお客様

(出発日のご変更希望がある場合は、お申し出下さい。)

【募集人員】 200 名

【旅行代金】 39,800 円 (2～3 名 1 室) *1 名様で 1 室をご利用の場合は追加料金 10,000 円がかかります。

【募集締切】 1 月 31 日 *締め切り前に定員に達する場合もございます。

*お申し込みはお取引の支店にお申し出下さい。

〔 調査・調整 〕

東京シティ信用金庫 業務部 渡邊正之



名鉄観光サービス(株)

宮崎康宏

